



2021年8月26日

各位

会社名 株式会社テーオーホールディングス
代表者名 代表取締役社長 小笠原 康正
(JASDAQコード・9812)

問合せ先

役職・氏名 取締役副社長 内山 敦 志
TEL 0138-45-3911

(開示事項の経過) 連結子会社における一部、事業縮小の検討開始について及び

当社及び連結子会社の販売用不動産売却に伴う営業損失の計上に関するお知らせ

当社は、2021年8月26日開催の取締役会において、2021年5月14日に「連結子会社における一部事業縮小の検討開始について」にてお知らせのとおり、当社の連結子会社テーオーフォレスト（以下、「TOFR」といいます。）が運営する事業のうち、住宅事業の縮小に向けた検討を行っていましたが、下記1. のとおり事業を縮小することを決定いたしました。また、事業の縮小に伴い、当社が保有し、TOFRが分譲地の販売活動を行っている開発地区の一部（以下、「本物件」といいます。）について、下記2. のとおり簿価を下回る価格で売却することを決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 事業縮小の決定内容について

(1) 決定に至った経緯

当社グループでは、1989年6月より住宅事業へ参入し、主に北海道および青森県を事業拠点に「テーオーハウス」の名称で、木造注文住宅・コンセプト住宅・マンション・商業施設の店舗設計などの各分野で、「快適な環境づくり」を理念に、健康に配慮した高質な住環境づくりに取り組んでまいりました。しかしながら、近年は少子高齢化に伴う世帯数の減少により市場規模が縮小するなど、住宅業界は競争激化の傾向にありました。

このような状況下、住宅事業においては営業体制の強化、コスト削減による収益改善などに努めて参りましたが、当社グループの事業ポートフォリオの再構築、経営資源の再配分の観点などから、事業の抜本的な見直しが不可欠であると判断し、縮小を決定いたしました。

(2) 今後の業務内容

①停止する事業内容

住宅事業に関する全ての新規受注（注文・建売住宅、リフォーム）

②継続する業務内容

既に建物の引渡しを終えているお客様、または契約を完了しているお客様に対する保守管理（保証制度・定期点検等）。

2. 販売用不動産売却に伴う営業損失の計上について

(1) 本物件の売却に至った経緯

本物件を含む一帯地域は当社住宅事業の一環として、造成・開発行為を行い、TOFRが販売活動を担っておりましたが、住宅事業の縮小に伴い、本物件を一括で売却することの検討をしておりました。

この度、本物件を一括で買受ける意向表明を受けたことから、当社取締役会において当該買受意向表明の内容を慎重に検討した結果、一括売却価格は簿価を下回る価格であり、損失を計上することになるものの、住宅事業の縮小に当たって保有在庫の圧縮が不可欠であることから、本物件の一括売却の決議に至りました。

なお、本物件の一括売却にかかる損失は、売買契約締結時点において、棚卸資産売却損73百万円を予定しております。

(2) 物件概要

① 所在地	北海道北斗市東前26番39号他	
② 土地	59区画	所有者：当社
③ 建物	2棟	所有者：TOFR（モデルルーム建物）

(3) 売却日程

① 契約締結日	2022年8月30日（予定）
② 物件引渡期日	2022年8月30日（予定）

(4) 売却先の概要及び売却価格

売却先及び売却価格につきましては、売却先の意向により公表を控えさせていただきます。なお、当社と売却先との間には、資本関係、人的関係、取引関係はございません。

3. 今後の見通し

本物件の売却に伴い、2022年5月期第1四半期決算に棚卸資産売却損73百万円を計上する予定ですが、2021年7月15日付で公表しました、「当社連結子会社の株式会社テーオーリテイリングとDCM株式会社との資本業務提携及び、それに伴う連結純資産の増加に関するお知らせ」に伴う連結純資産の増加が見込まれることから、連結純資産は資産超過を維持する見込みであります。

なお、2022年5月期通期業績に与える影響につきましては、現在精査中であり、修正が必要な場合は、速やかに開示を行ってまいります。

以上